

# GRIPSフォーラム

## 「都市・交通関連産業にとってのSDGsへの取組のあり方」 —その意義と課題—

SDGsが国際社会の共通目標と位置づけられ、欧米の産業界では多くの動きがある中で、日本では政府や経団連もその取組を促進しています。一方、その対象領域が広いこともあり、具体的に何をすればいいのかという戸惑いの声も聞かれます。

政策研究大学院大学では、田中明彦学長のリーダーシップのもとでSDGsに関する様々な取組を始めています。この度は、GRIPSフォーラムで、都市と交通関連産業界におけるSDGsへの取組のあり方について、パネルディスカッションを行うことになりました。

産業界のみならず、学会、官界からも多くの参加者にお越しいただき、SDGsに対する活動が活発化することを期待しております。

**2019年11月11日(月) 【フォーラム】 16:40~18:10 (受付開始 16:00~)**  
**【懇親会】 18:30~19:30**

会場： 政策研究大学院大学 1階 想海樓(そうかいろう)ホール

内容： 4名のパネリストによる講演とディスカッション

定員： 160名

参加費： 2,000円(税込) (※懇親会費込、当日、会場受付にて、直接お支払いください。)

参加登録： 事前登録制 (※参加登録方法は次頁)

- 当日は、受付が混み合うこともありますので、時間に余裕を持ってお越しください。
- フォーラム終了後、パネリストを囲んだ懇親会を本学食堂で開催いたします。

### パネリスト(五十音順)

加藤 美好 氏：大成建設株式会社エネルギー本部エグゼクティブ・フェロー

田中 明彦 氏：政策研究大学院大学 学長

元独立行政法人国際協力機構(JICA) 理事長

徳山 日出男 氏：株式会社電通 顧問

政策研究大学院大学 客員教授

元国土交通省事務次官

村上 周三 氏：東京大学名誉教授

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構(IBEK) 理事長

### 本フォーラムの焦点

SDGsにおける17の目標のうち、以下の2つに焦点を当てる。

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

11. 住み続けられるまちづくりを



## 【プログラム】

1. イントロダクション(進行役:紺屋 健一 氏(政策研究院参与・教授))
2. 講演
  - (1) 田中 明彦 氏 : SDGsが国連サミットで採択された経緯と気候サミット(9月)の紹介  
国際機関や各国の動向  
本学とSDGs
  - (2) 徳山 日出男 氏 : 企業にとってのSDGsへの取組と意義  
国内におけるSDGsの認知度  
交通・インフラ整備とSDGs
  - (3) 村上 周三 氏 : 建築産業にとってのSDGs導入のためのガイドラインについて  
不動産・建築産業の今後の展開  
スマートシティとSDGs
  - (4) 加藤 美好 氏 : 大成建設のSDGsに対する取組と意義  
建設現場を抱える立場での課題  
GRIPSとの協同事業
3. ディスカッション  
各パネリスト: 発展途上国におけるSDGsの展開とその課題
4. フリーディスカッション
5. クロージング(紺屋 健一 氏)

## 【参加登録方法】

下記URL 又は QRコードより、申込フォームへアクセス願います。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeljyd-TE5dKHllvswGIFeHosx3OyTLdcHmleXRBHWqjGhTQQ/viewform>



※会場の都合上、入場者数には限りがございますので、申込フォームに

ご氏名、ご所属、ご連絡先等を明記のうえ、**9月30日(月)まで**にご登録ください。

※ご提供いただいた個人情報は、本フォーラムのみに使用し、第三者には提供しません。

※当日は、記録のため写真撮影や録画を行います。

その写真を本学ホームページ、広報誌等に掲載させていただくことがございますので、予めご了承ください。

● お問い合わせ先 : 国際渉外室(担当:関根、山崎、小澤) TEL: 03-6439-6035

## 【本学へのアクセス】

公共交通機関を利用して、本学にお越しになる方は、

- ・ 都営大江戸線六本木駅、
- ・ 東京メトロ日比谷線六本木駅、
- ・ 東京メトロ千代田線乃木坂駅 をご利用ください。

駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

フォーラム当日は、**本学正門(国立新美術館側) から  
ご来館願います。南門(星条旗通り側)からはご来館できません。**



※ご都合によりお車をご利用される方は、**2019年11月5日(火)**までに担当までお知らせください。